

～扱いやすい乾物新商品を開発し漁業者手取りの向上を図る～ 丸大産業株式会社（大阪府大阪市）

目詰まりの現状

関西地区はもともとコンブやワカメ等乾物の消費量が多いが、近年は高級品の需要が減り、手ごろな商品を求める傾向にある。これに応じて、生産者は短期間のうちに出荷し効率を上げる仕組みに変更したが、水揚げ集中の度が増し、価格が乱高下しやすい環境となっている。乾物加工業者は、消費者ニーズに合った商品を開発し、安定供給することが求められている。

プロジェクトの概要

- ・自社の塩昆布加工技術を応用し、ふりかけ等の個食用商品の開発、製造を行う。
- ・国産原料の水産加工品で、かつ、個食用商品の供給を望んでいる学校給食や介護給食等への販路を構築する。
- ・コンベア式乾燥機を導入し、連続的な乾燥を行うことで低コスト化、多様な商品サイズの製造能力確保を図る。

取組による成果

- ・多様な商品サイズを実現し、個食用から業務用まで商品バリエーションが拡充。販売先業態が多様化（嗜好品、業務用、介護給食用など）。
- ・特に1商品当たりの量が小さい個食商品について、製造ロスが大幅に減少。
- ・電気代等製造コストが減少。
- ・原料取扱量が増加。今後は、塩昆布になじみのない関東や、台湾等アジアへの販路拡大が課題。

プロジェクトフロー

コンブ・シラス・ワカメ等

生産、需要減少、価格低迷

需給ギャップの拡大

資源回復傾向にあるコンブやシラス、ワカメは、価値に見合った生産価格になっていない。

- ・コンベア式乾燥機を導入し、コスト削減及び生産力向上を図る。
- ・国産原料・個食対応の商品を、学校給食や介護給食等へ販路拡大。

コンベア式乾燥機の導入

新製品開発

スーパー
中京地区学校給食

大阪地区学校給食
介護給食
通販カタログ

販路拡大



コンベア式乾燥機



昆布新商品



（平成28年3月現在）